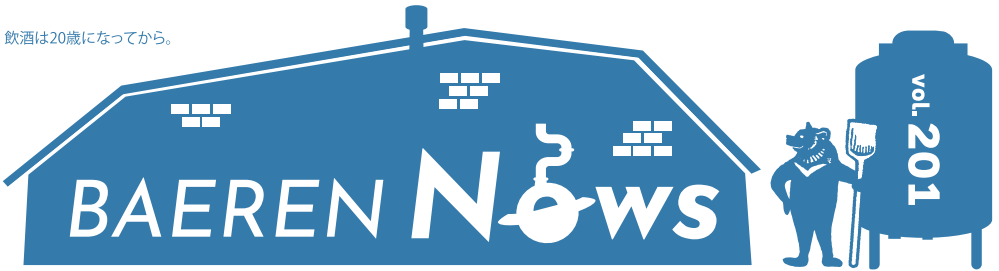


飲酒は20歳になってから。



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同

ワイン事業をリブランディングします 畠田 洋一 | 代表取締役社長

ベアレン醸造所は果実酒も造っています。岩手のりんごから造るお酒「ドライサイダー」が中心で、りんごの量では年間40トンの量を自分たちで絞り、酸化防止剤を加えずにまさにりんごのみで醸造しています。そのほか2020年にフジシールドルチャレンジにて最高賞を受賞したゆずサイダー、そして昨年度初めて発売した山葡萄スパークリングワインとラインナップを増やしてきました。



左からドライサイダー、ゆずサイダー、山葡萄スパークリングワイン

この度、いわて希望応援ファンドの助成もいただき、これらベアレンの果実酒ラインナップをトータルでリブランディングしてデザインから見直しを諮ります。とはいえ、ワイナリーの皆さんご安心ください。私どもは創業より一貫して自らで市場を造ることを大事にしてきました。ただでさえ、酒類市場は縮小の一途です。狭い市場を奪い合うのではなく、新たな需要を創造することで市場の活性化を図りたいと考えています。

ビール会社の強みである炭酸飲料を造るということに特化し、小瓶のスパークリングワインという新ジャンルにて皆さまの食卓をハッピーにできればと考えています。もちろん、クラフトビール事業からシフトするわけではありませぬ。クラフトビールに加えてスパークリングワインにて食卓をもっとハッピーにすることができればと考えています。



プロジェクトメンバーの二人

の秋の予定。ベアレンの新たなチャレンジにどうぞご期待ください。

ベアレンニュース 2022年7月号 No.201

編集：一井田 篤

岩手県盛岡市北山1丁目3-31

ベアレン醸造所 〒020-0061



各アカウント一覧はこちら↓

よ市を指しています！



リレーエッセイ

山本 智也 | 営業部直販課

こんにちは、営業部直販課の山本智也です。同期で音楽大好き都鳥さんよりバトンを受け取りまして今回のリレーエッセイを担当させて頂きます。ベアレン醸造所でお仕事を始めて3カ月が経ちました。よ市では多くのお客さまやベアレンファンの方にお声かけ頂きまして毎週土曜日が楽しみになりました。よ市や地域一体となったイベントを盛り上げていきますので今後ともよろしくお願いたします。

初めてのエッセイという事で、今回は私の趣味の紹介です。多趣味でいろんなことにチャレンジしていますが、キャンプが好きで時間があれば一人でもソロキャンプを楽しんでいます。

このバトンは総務部経理の佐々木さんに繋いでいきます！

キャンプを楽しむんです。写真は5月に八戸の種差海岸キャンプ場にソロで行ったときです。

毎回キャンプにテーマを決めています、ちなみにこの時は「無限お酒キャンプ」酒を切らずなんです。産直に行き、地の物を調達し、おつまみを作って地酒で楽しむんです。焚火の薪は切らしても酒だけは切らさないようクーラーボックスパンパンで挑むのが私のスタイルです。今年の夏はベアレン樽生(IGD)をもって釜石根浜海岸で日の出キャンプを楽しむ計画です。



ソロキャンプ堪能中

今月の新製品

畠村 美花 | 営業部流通課

暑くなってきましたし、爽やかなラガービールをゴクゴク飲みたい！でも普段のラガーよりホップ感も味わいたい！そんなワ・ガ・マ・マな(笑)あなたにぴったりの夏限定ビール「サマーホップドラガー」をご紹介します。



このビールの特徴は、通常のホップ投入のタイミングに加えて、さらに追加でホップを漬け込む「追いホップ」の工程です。ホップをそんなに使ったら苦くなるんじゃないかと思いますが、アロマの華やかな香りを引き出しつつ、かつ苦みは爽やかに仕上がっているのが「IPAは好きだけどゴクゴクは飲めない。でもホップ感も楽しみたいんだよね」という方にもおすすめです。暑い夏に冷やしてうまいー夏限定「サマーホップドラガー」ぜひ飲んでみてください。

編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

いよいよ梅雨の時期に入りました。どんよりとした天候が続く、なんだか憂鬱な気分になってしまいう方も多いいのではないのでしょうか。そんな時は、ベアレンビールでリフレッシュ！ビールは原料であるホップの香りには気分を落着かせるアロマ効果があるそうです。ベアレンビールを飲んで一緒に梅雨を乗り切りましょう！

今月の一挙

昨年販売したお中元、お歳暮の売上の一部を三陸防災復興ゾーンプロジェクトに寄付いたしました。ご購入いただいたみなさま、ありがとうございました。

盛岡バスセンターへの移転について



盛岡バスセンター 10月4日開業予定

既にご存知の方もいらっしゃると思いますが改めて、ビアバーベアレン中ノ橋店はバスセンターに移転する事になりました。

実は私自身、盛岡に住み始めた頃には以前のバスセンターは既になくなっていったので盛岡市民の方含め岩手県の方にとってバスセンターがどのような存在だったのかわからないのですが、盛岡駅の次に盛岡の玄関口になると思うのでこのような場所に新店出来る事をとて楽しみにしてまいります。

現在の中ノ橋店と比べると規模はとも小さくなりカウンターがメインのお店になります。イメージするならばフードコートの一画にカウンター席のあるベアレンのお店があると言った感じでしょうか。なので、フードは別のお店で頼んでビールはベアレンといった楽しみ方もできるようになります。出来ればフードもベアレンでご注文いただけますとありがたいのですが(笑) 盛岡バスセンターのオープン予定日が10月4日なので、それまで楽しみにしていただけだと思います。皆さまが気軽に立ち寄れるようなお店になれるよう努めてまいりますので、新転地のビアバーベアレン中ノ橋店を今後ともどうぞよろしくお願致します。

なお、中ノ橋店の最終営業日は8月20日(土)を予定しております。お店にマイジョッキを置かれている方については、お持ち帰りをお願いしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

また、バスセンター移転後、現

在の中ノ橋のお店を使用していただけの方、募集中です。什器備品など大部分をそのままご使用いただけます。関心のある方はベアレン醸造所までご連絡ください。

現在のビアバー中ノ橋



わたしとベアレン

投稿者 | 昌浦 利伸さま

ベアレンビールは私の家庭と共にある大切な「仲間」です。岩手出身の妻と結婚し東京で働いていた2006年、日本橋高島屋の岩手物産展で、売り子だった鳥田社長からベアレンビールを購入したのが始まりでした。

それから早十数年、ベアレンビールのストックを切らしたことは一度もありません。また、様々なイベントに参加する中で、CMやカレンダーにも出させていただいたのも良い思い出です。

いっぞやのスプリングフェストの大声コンテストで「息子と一緒にベアレンビールが飲みたい！」と叫び、特別賞をいただきましたが、ベアレンの歴史と共に時を歩んできた子どももあと2年でビール解禁です。

これからも我が家の楽しい時間を作る側にはベアレンビールがあと続けたらと思います。



応募QRコード

レストラン便り

今野 克伸 | 菜園マイクロブルワリー

こんにちは、レストラン部の今野です。季節は夏を目前にし、日中は汗ばむ日も多くなってきました。県内では数年コロナで中止していたイベントが少しずつ開催する方向で動いているようです。盛り上がりつつありますね。

そんなイベントの話題のつながりで今回はレストランのイベントの紹介です。直営レストラン3店舗(材木町を除く)の中で今では一番歴史の古い店舗、中ノ橋店の12周年イベントが7月に開催されます。中ノ橋店は、ベアレンビールはもちろん、3店舗のなかでは唯一輸入ビールも複数タップする店舗として営業してきました。きましたと書いたのは、ご存じの方も多いと思いますが8月20日を持ちまして現在の場所での営業はひとまず終了、10月から新しくなるバスセンター内への移転が決まっています。

従いまして周年イベントはラストとなります。現在の店長、永野はじめ中ノ橋店のスタッフがどんなイベントにするかアレコレ思案中です。チラッと話しますと、日替わりで中



ご家族・ご友人お誘いあわせのうえ 思い出作りにぜひお越しください！

ノ橋の歴代店長によるビールサービングや12周年にちなんだ1200円の素敵な料理がごんどん登場しそうです！

ビアバーベアレンの名前の通り、大きめのバーカウンターが入口から奥へずらりと続く店内、ビール会も毎月開催されて思い入れのあるお客さまもきつと多いことだと思えます。

是非、移転までの残された期間に足を運び思い出話をスタッフに聞かせてください。

笑熊会活動報告

坂爪 燈 | 特命担当

先日、弊社代表の交代がありました。2001年に木村、鳥田、ドイツ人マイスター・イヴォの3人が世界に通用するうまいビールを造りたいと起業し、2003年に醸造開始、以来、この春までスタッフを引っ張ってきてくれた

木村から鳥田にバトンタッチし、すべての職から退くこととなりました。

元々早くから引退してのびのび暮らしたいということを言っていたのですが、有言実行で5月20日時点で退職し、今後は趣味の山歩きや釣りに没頭する予定ですw

そんな木村の送別会をビアバーベアレン中ノ橋にて開催しました。たくさんの方のスタッフに囲まれての送別会、贈る言葉替え歌パージョンの熱唱があったり、ちよっとした昔を掘り起こす動画があったり、なぜか腕相撲大会があったり笑)と盛りだくさんの内容でしたが、21年間の苦勞を少しでも労えたかなと思っております。

今後は鳥田を中心に新生ベアレン

ンとして新たなステージに挑戦となります。21年間の歴史を作ってきた木村をがっかりさせないよう、スタッフ一同改めてビール造りに邁進致します！

思い出話に花を咲かせました



木村さん、お疲れさまでした！

